

バイオビジネス情報学特論 I (2単位)

担当者氏名 鈴木充夫

◆学習・教育目標

農業データの収集と分析では、多くの因子を考慮した多変量解析が必要である。多変量解析を理解するために線形代数、基礎統計を復習しながら、データの結合、多次元回帰分析、多次元分散分析、計量経済学の手法について解説する。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

回帰分析 統計システム 情報分析 多変量解析
計量経済学 _____ _____ _____

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	多変量の基本概念		
2			
3			
4	回帰直線と最小2乗法	一次形式から二次形式への変換	統計学に必要な線形代数の公理について理解しておくこと。
5		多変量に拡張した基本概念について	
6	分散分析	回帰直線の求め方について	データの変換について理解する。
7		多次元回帰と誤差分散について	回帰や相関についてのその由来や定義の仕方について理解。
8	計量経済分析	複数のデータを結合したときの分散	分散による検定の必要性から分散分析の発展過程を理解し、さらに計量経済学の手法について学ぶ。
9		回帰モデルの作成と行列表示	
10		級内分散と級間分散	
11			
12			
13			
14			
15			

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)
 実践計量経済学入門/山澤成康/日本評論社。

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)
 授業中に指定

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

授業中の課題、参加状況

◆その他受講上の注意事項